

RICHARD KOO

Chief Economist of Nomura Research Institute

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Economics
- Finance

Richard Kooは、野村総合研究所のチーフエコノミストで、日本の大手証券会社である野村證券とその顧客に独立した経済分析と市場分析を提供する責任を担っています。1984年に野村に入社する前は、米国市民であるKoo氏はニューヨーク連邦準備銀行（1981 - 84年）のエコノミストでした。それ以前は、連邦準備制度理事会の博士研究員（1979-81）でした。金融市場調査の実施に加えて、彼はまた、日本の経済問題および銀行問題にどう対処するのが最善かについていくつかの日本の首相に助言しました。

台湾系アメリカ人は、日本の5ヵ年経済計画の策定に参加した最初の外国人の一人であることに加えて、1999年の防衛省防衛戦略研究会議の唯一の外国人メンバーでもありました。2011年現在、彼は戦略国際研究センター（ワシントンDC）の上級顧問を務めています。彼はまたNew Economic Thinking（NYC）研究所の諮問委員会のメンバーでもあり、Invitation by The EconomistのEconomicsへの定期的な寄稿者でもあります。

日本経済に関する著書の著者である彼の最新の著書『マクロ経済学の聖杯 - 日本の大不況からの教訓』（John Wiley & Sons, 2008年）は4つの異なる言語に翻訳され販売されています。Kooは、カリフォルニア大学バークレー校（1976年）で政治学および経済学の学士号を、ジョンズ・ホプキンス大学（1979年）で経済学の修士号を取得しています。1998年から2010年まで、リチャードクーは東京の早稲田大学の客員教授でした。

金融業界では、リチャード・クーは1995年、1996年、1997年の日経フィナンシャル・ランキング、1998年の機関投資家誌で、日本をカバーする100人以上のエコノミストの中で第1位にランクされました。彼は、2001年に米国ビジネス経済学会（ワシントンDC）からAbramson賞を受賞しました。

神戸出身のクーさんは、2人の子供と結婚しています。